

# お問い合わせ

## アフターサービスについて

本製品をご使用の際に不明な点などがございましたら、  
下記カスタマーセンターまでお問い合わせください。

トゥーコネクト・カスタマーセンター

# 0120-134-568

受付時間: 月～土 9:00～18:00 (日祝日以外)

## 廃棄について(リサイクル)

外箱や梱包材	外箱などの梱包材の分別方法は、地域によって異なります。 お住いの市区町村のルールに従って分別・廃棄してください。 識別マークは外箱に表示されています。
製品	廃棄のしかたは、お住いの市区町村のルールに従ってください。

[開発] Airdog USA Inc.

[輸入販売元] 株式会社トゥーコネクト

〒105-7115 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター 15階

AIR-MA022-MOI2410



高性能加湿器

## Airdog moi

エアドッグ モイ

取扱説明書



## 水漏れ注意

間違った使い方をすると、本体から水漏れを起こす場合があります。  
以下の点にご注意ください。

### 1

本体を傾けたり、倒さない

### 2

水を入れすぎない  
給水する際は、ゆっくり注ぐ

タンク容量は3.2Lです。  
注いだ水の量が80%以上になるとアラームが鳴り始めます。  
アラームが鳴ったら水をゆっくり注いでください。  
100%に達したら給水を止めてください。  
P15～16「水を注ぐ(給水)」を参照して、こぼれないように注いでください。

### 3

給水後すぐに本体カバーを外さない

本体カバーに水が残っている場合がありますので、  
本体カバーを外す際は、  
給水後30分以上経ってから行ってください。

### 4

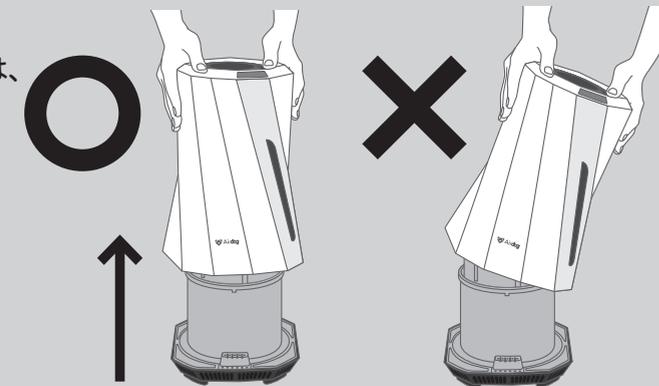
本体カバーを外す際は  
まっすぐ上に持ち上げる

本体カバーに水が残っている場合がありますので、  
本体カバーを外す際は、まっすぐ上に持ち上げてください。

**!** 特にご注意ください

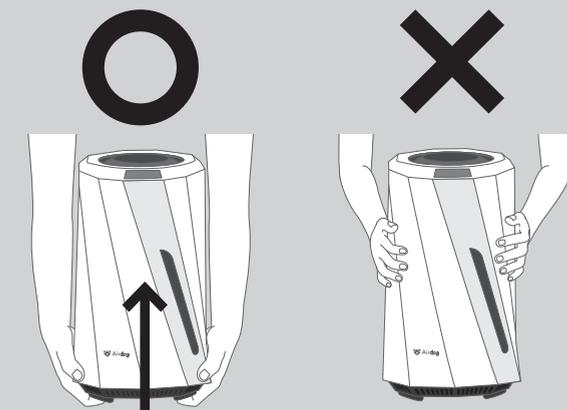
【本体カバーを外す際の注意事項】

本体カバーを外す際は、  
本体ベースが  
傾かないように、  
まっすぐ上に  
持ち上げてください。



【本体を持ち上げる際の注意事項】

側面を持って  
持ち上げないでください。  
本体を移動する際は、  
必ず本体底面を  
両手で下から支えて  
持ち上げてください。



# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、この電気器具を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。注意事項を「警告」、「注意」に区分して明示していますので、お使いの際には、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を「図記号」で区分して説明しています。

-  「してはいけないこと」を表しています。
  -  「水をかけてはいけないこと」を表しています。
  -  「濡れた手で触らないこと」を表しています。
  -  「分解してはいけないこと」を表しています。
-  「しなければいけないこと」を表しています。
  -  「電源プラグを抜くこと」を表しています。

## ■使用・取り扱いについて

-  お客様自身で分解や改造、修理をしない。  
故障や火災・感電・けがの恐れがあります。
-  水につけたり、水をかけない。  
故障やショート・火災・感電の原因となります。
-  **警告**  使用時以外、電源プラグをコンセントから抜き、本機内の水は排水する。  
けがややけど、絶縁劣化による火災・感電・漏電の原因となります。
-  すき間からピンや針金など、異物を入れない。  
感電や異常動作して、けがの原因となります。
-  子どもだけで使わせたり、幼児の手の届く場所で使わない。  
感電・けがの原因となります。
-  本製品は、海外では使用できません。  
For use in Japan only.
-  **注意**  本体を倒さない。  
水がこぼれて故障・感電の原因となります。
-  本体に乗ったり、腰掛けたりしない。  
転倒によるけがの原因となります。

## ■設置場所・移動について

- 次の場所で使用しない。  
故障や火災・感電・けがの恐れがあります。
  - ・窓際、エアコンの風が当たる場所  
温度・湿度センサーが正しく働かない原因となります。
  -  直射日光や暖房機の熱が当たる場所  
変形や、変色の原因となります。
  - ・カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所  
誤動作や故障の原因となります。
  -  **注意** 不安定な場所や高い場所に置かない、また傾けたりゆすったりしない  
転倒すると水がこぼれる原因となります。
-  同じ場所で長時間使用する場合は、本体下部や床の周辺などのよごれに注意する。  
本体を移動する際は、本体下部を両手を使って持ち上げてください。
-  本体の上に物を置かない。  
本来の性能が発揮できません。
-  本体カバーを持って持ち運ばない。  
落下してけがの原因となります。

### ■電源コード・電源プラグ・コンセントについて

-  交流100V以外では使わない。  
火災・感電の原因となります。
-  コンセントや延長コードの定格を超える使い方をしない。  
火災の原因となります。
-  電源コードや電源プラグが傷んでいたり、  
コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
ショート・感電・発火の原因となります。
-  電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、  
束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり加工したりしない。
-  **警告**  濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。  
感電・やけど・けがの原因となります。
-  付属のACアダプタ以外は使用しない。  
故障・火災の原因となります。
-  電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除く。  
ホコリが溜まると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
-  電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。  
ショート・火災・感電の原因となります。
-  お手入れや、点検、移動の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電やけがの原因となります。

### ■故障・異常時について

-  **警告**  故障時・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。  
発煙・発火・感電の原因となります。  
(故障・異常例)  
・水漏れする  
・電源コードを動かすと、運転が止まる  
・運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する  
・本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする  
→使用を中止し、カスタマーセンターへお問い合わせください。

### ■使用時について

-  **注意**  凍結のおそれがあるときは、タンクの水を捨てる。  
水が凍結した状態で運転すると、故障の原因となります。
-  フィルターをはずしたまま使わない。  
加湿しなくなり、故障の原因となります。
-  美術品や学術資料などの保存、特殊用途には使わない。  
保存品の品質低下の原因となります。

### ■使用する水について

-  給水した水は飲まない。  
健康を害することがあります。
-  本体(給水口以外)に水をかけない。  
故障・ショート・感電の原因となります。
-  **注意**  必ず水道水(飲用)を使用する。  
次のような水は使わない。変形・故障、カビや雑菌が繁殖する原因となります。  
・40℃以上の温水  
・長期タンク内に放置された水  
・洗剤を入れた水  
・化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水  
・浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水  
※やむを得ず井戸水を使用する場合は、お手入れの回数を増やしてください。
-  水量レベルが100%と表示された時点で、給水をやめる。  
水が溢れ、床が濡れる恐れがあります。また本体の故障の原因となります。
-  電源を切ったまま放置した場合は、必ずタンクの水を新しい水道水と入れ替える。  
カビや雑菌が繁殖する原因となります。
-  電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、給水する。  
タンク内の水量を検知できず、水が溢れ、床が濡れる恐れがあります。

### ■お手入れについて

-  **警告**  お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を同時に使わない。  
洗剤から毒ガスが発生し、健康を害することがあります。
-  本体カバーを外す際は、上部を両手で掴み、まっすぐ上に持ち上げる。  
傾けると本体カバー内に残った水が滴る恐れがあります。
-  **注意**  給水後、すぐに本体カバーを外さない。  
本体カバー内部に水が残っている場合がありますので、取り外す際は給水後30分以上経過してから行ってください。
-  フィルターはこまめに交換・お手入れをする。  
加湿量が低下したり、ニオイ、フィルターの変色の原因となります。また、フィルターに空気中の埃や水道水のカルキ、水あかが付着し、固まって取れにくくなりカビや雑菌が繁殖する原因となりますので、定期的取扱説明書の通りにお手入れを行ってください。

### Airdogの空気清浄機を併用されるお客様へ

本製品に付属のACアダプタは、加湿器「Airdog moi」専用です。Airdogの空気清浄機には使用できません。故障の原因となりますので、絶対におやめください。

加湿器専用

### 注意

このACアダプタは、Airdog moi専用です。Airdogの空気清浄機には使用できません。故障の原因となりますので、絶対にしなくてください。

# もくじ

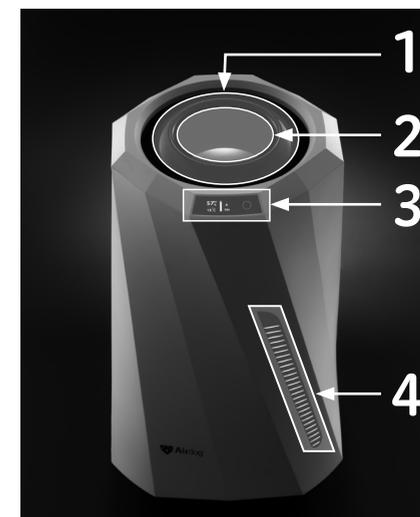
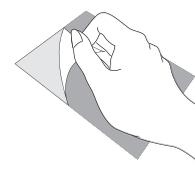
- 水漏れ注意 ..... 1
- 安全上のご注意 ..... 3
- 梱包内容 ..... 8
- 各パーツの名称 ..... 9
- 設置方法 ..... 10
- ディスプレイパネルの説明 ..... 11
- エアドッグモイを使ってみよう
- 使い方① 水を注ぐ(給水) ..... 15
- 使い方② モード切替 ..... 17
- 使い方③ 電源オン・オフ ..... 18
- 各モード説明 ..... 19
- お手入れについて
- クリーンサインの説明 ..... 24
- お手入れするもの ..... 25
- フィルターのお手入れ方法 ..... 27
- フィルターを戻す(フィルターの設置方法) ..... 29
- タンク内のお手入れ方法 ..... 31
- その他、お手入れするパーツ ..... 33
- 各パーツの取り外し方 ..... 34
- 各パーツのお手入れ方法 ..... 35
- 故障かな?と思ったら ..... 37
- よくある質問 ..... 39
- 仕様 ..... 42

このたびは、加湿器「Airdog moi」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書とともに、いつでも見られるところに大切に保管してください。

# 梱包内容



4か所のフィルムを剥がしてからご使用ください。



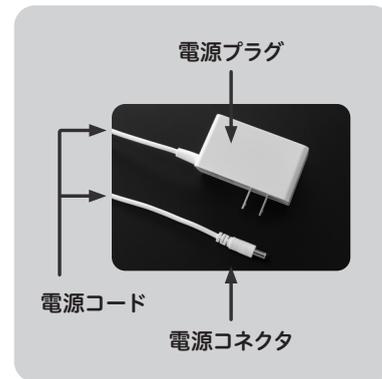
## 各パーツの名称

各  
パ  
ー  
ツ  
の  
名  
称

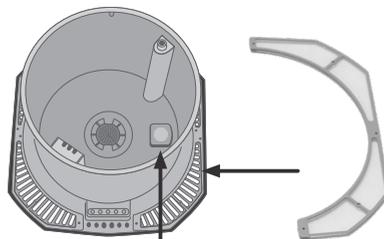
本体カバー



ACアダプタ



本体ベース



プレフィルター(2枚)



フィルターケース

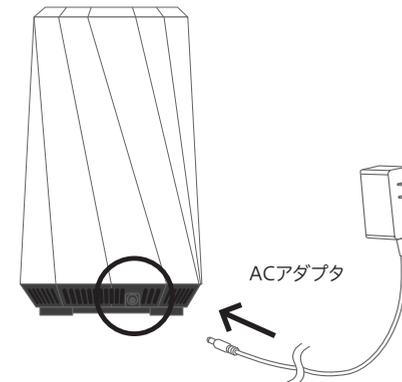


フィルター

## 設置方法

設  
置  
方  
法

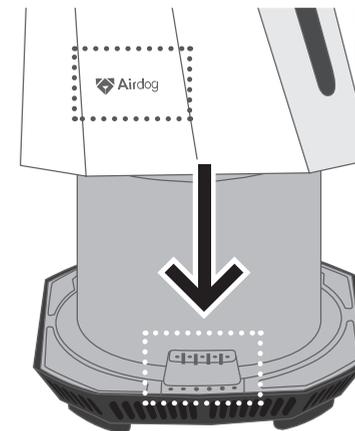
### 1 ACアダプタを取り付ける



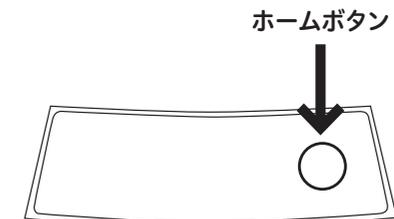
本体背面にある差込口に電源コネクタを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む。



### 2 本体カバーがしっかり装着されていることを確認



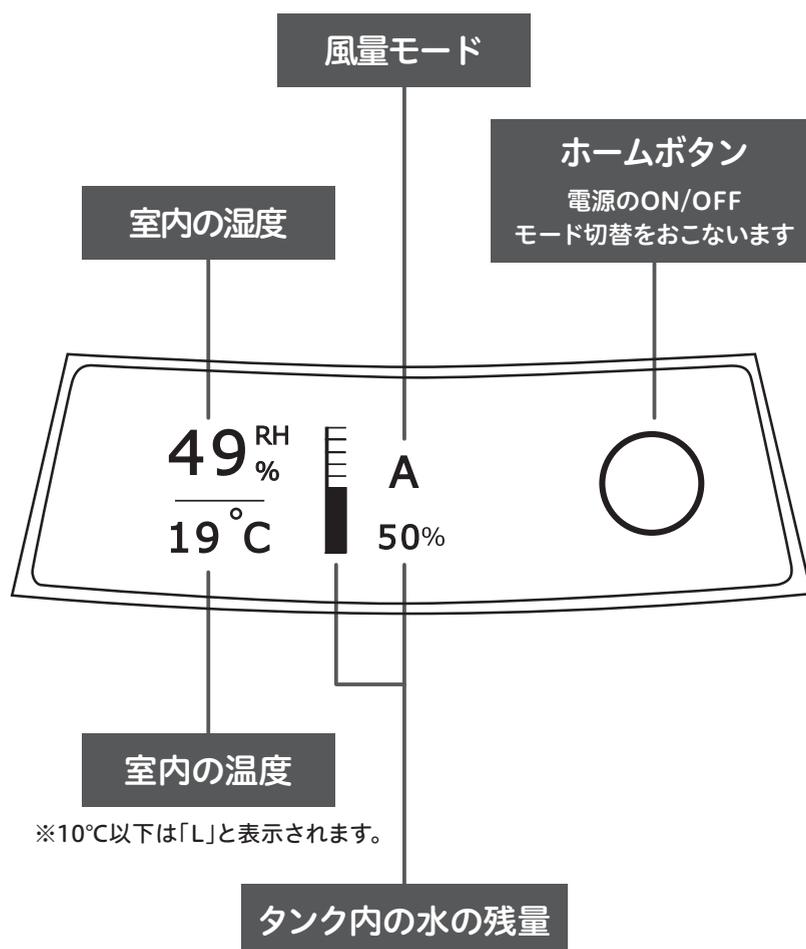
ディスプレイパネルにホームボタンが点灯していれば、本体カバーが正常に装着されている証です。(スタンバイ状態)



電源接続部には、あらかじめ「H字」の切り込みが入ってます  
本体の不良ではありませんのでご安心ください。

# ディスプレイパネルの説明

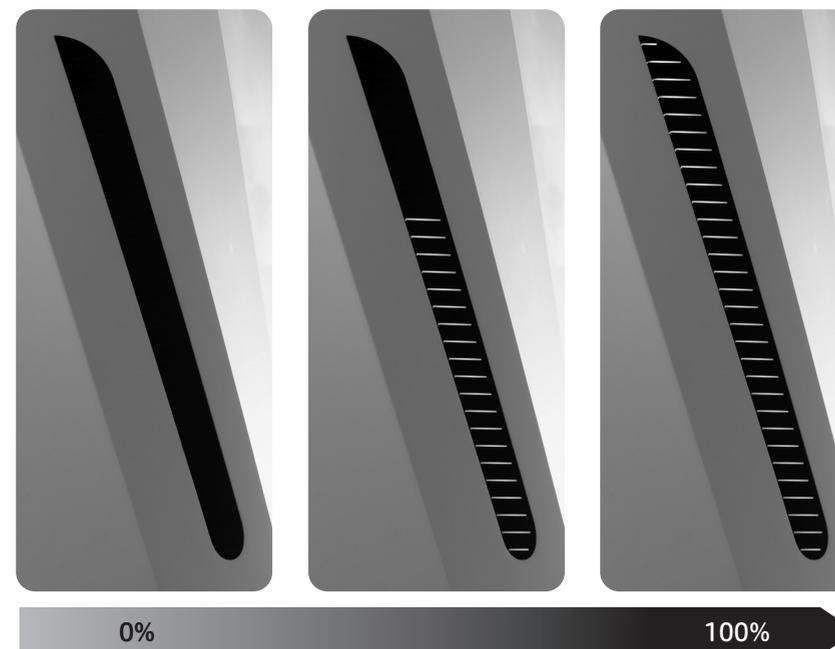
ディスプレイパネルの説明



お手持ちの温度計・湿度計とは設置場所、室内環境が異なるため数値が異なる場合があります。

## インジケータ

タンク内の水の残量を表しています。



タンクの水量をインジケータのセンサーが感知するまで少し時間がかかる場合があります。ディスプレイパネルを確認しながら給水してください。また、タンク内の水が10%以下になり、60分間給水されないと、自動的にフィルター乾燥モードが120分間稼働し、その後スタンバイ状態となります。

※長時間放置するとニオイやカビ等の原因となりますので、タンクに残った水は捨ててください。

ディスプレイパネルの説明



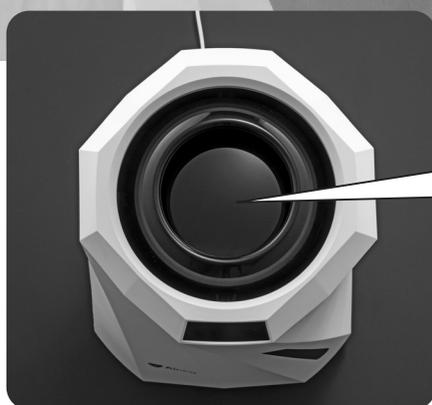
エアドッグモイを  
使ってみよう

# 使い方① 水を注ぐ(給水)

タンク容量は3.2リットルです

水を注ぐと自動的に電源がオンになり、加湿しはじめます。

※スタンバイ状態から、風量オートモードに切替わります。



本体上部の  
中央部分に  
水を注ぎます

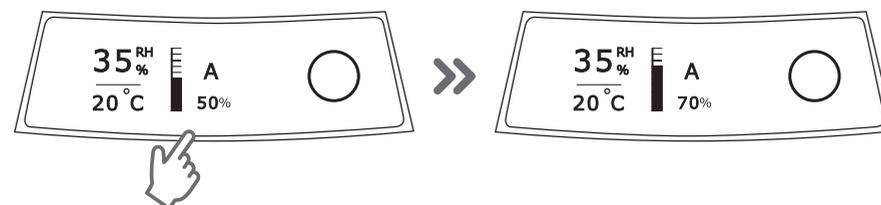
使い方① 水を注ぐ(給水)



- ◎ 電源を入れた状態(スタンバイ状態)で給水してください。
- ◎ ゆっくり水を注いでください。
- ◎ たくさんの水を勢いよく注がないでください。

※カバーを外しての給水も可能です。

タンク内の水量レベルはディスプレイパネルに表示されます。



水量レベルが 80%と90%に達するとモニターが点滅しアラームが鳴ります。アラームが鳴ったら



水を **少しずつゆっくり** 注いでください。

※水量レベルが20%以上増えた場合にアラームが鳴ります。



水量レベルが100%に達すると

アラームが鳴りますので、**給水を止めて**ください。

※タンク容量が100%を超えても直ちに水が溢れることはありませんが、100%の表示が出たら給水を止めてください。  
※水量レベル90%から給水する場合は、アラームが鳴りません。

使い方① 水を注ぐ(給水)

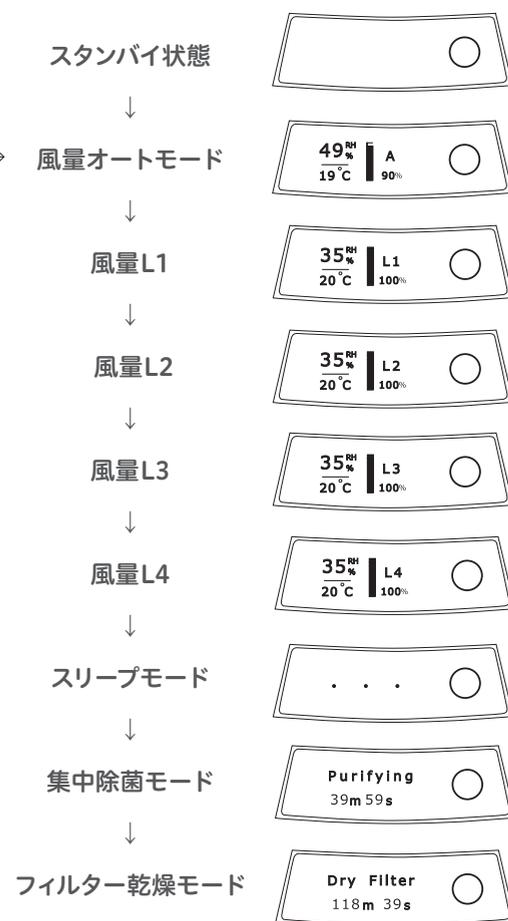
## 使い方② モード切替

### 「風量調節」と「モード切替」

ホームボタンをタッチするごとに  
モードが切り替わっていきます。

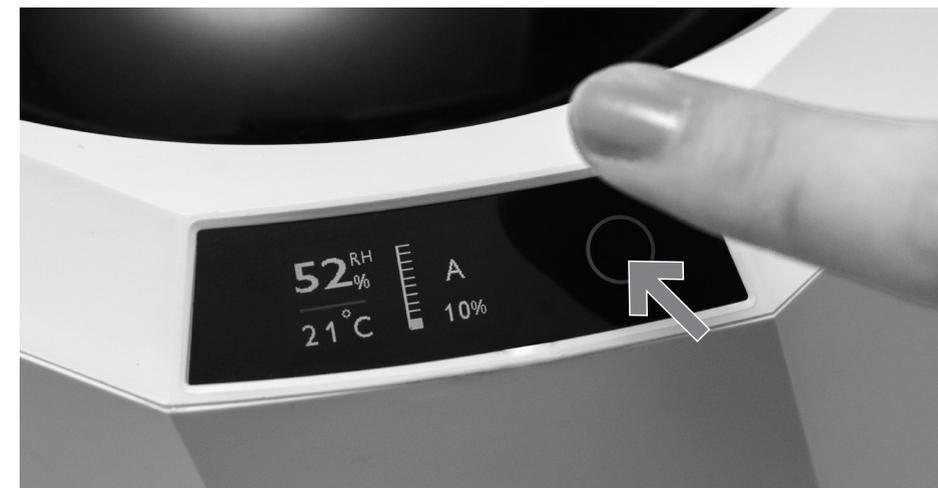


使い方②  
モード切替



## 使い方③ 電源オン・オフ

水を注ぐと自動的に電源がオンの状態になります。



### 電源オン

スタンバイ状態から  
ホームボタンを **1回タッチ** すると  
風量オートモードから  
スタートします。

### 電源オフ

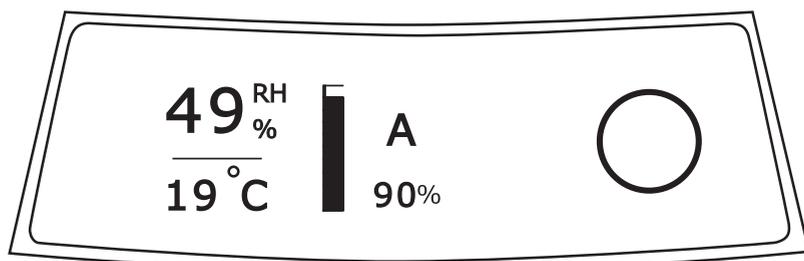
ホームボタンを  
**3秒以上タッチ** することで  
オフになります。



ホームボタン押す際は、軽くタッチしてください。  
強く押すと故障の原因となります。

使い方③  
電源オン・オフ

# 各モード説明

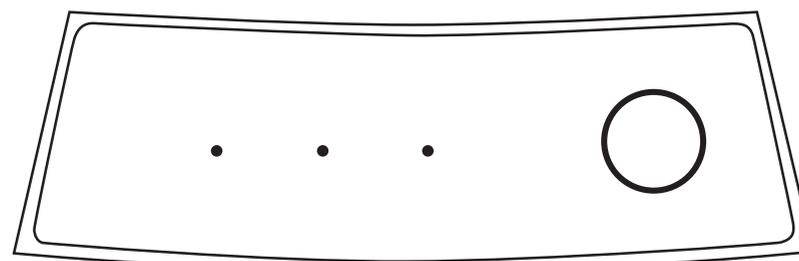
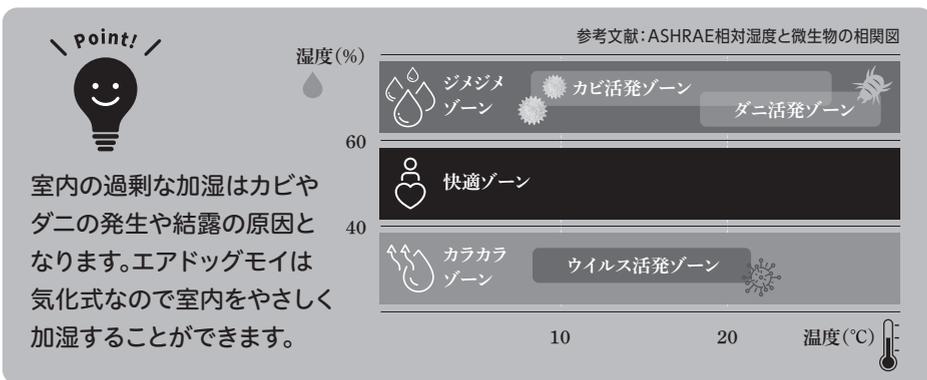


## 風量オートモード

室内の湿度に応じ、  
風量を自動調節するモードです。

※風量オートモードは自動で  
電源オン/オフする機能ではありません。

室内の湿度	
61%以上	L1モード
55%～60%	L2モード
50%～54%	L3モード
49%以下	L4モード



## スリープモード

睡眠の邪魔にならないよう、ディスプレイパネルとインジケータのライトをオフにするモードです。  
スリープモード時は、L1モードによる加湿を行います。

スリープモード時、  
風量はL1モード固定で稼働します。

各モード説明

各モード説明

## 各モード説明(つづき)



Purifying  
39m 59s

### 集中除菌モード

40分間、タンク内の水をオゾンで集中的に除菌するモードです。

長時間放置された水を使って加湿する場合は、  
このモードを選択し、水の除菌を行ってください。

※標準モード時(風量L1~L4)でも、1時間毎に5分間の除菌を行います。

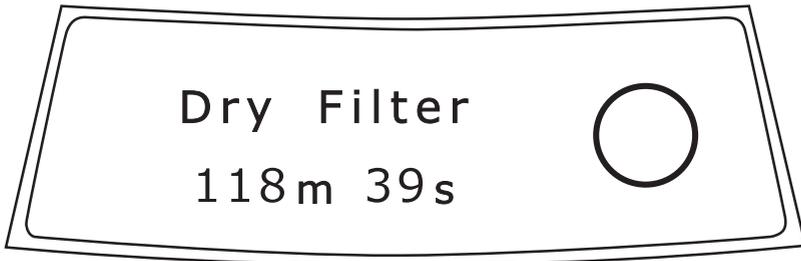
※水量レベルが10%以下の場合、集中除菌モードは作動しません。

※集中除菌モード終了後は、風量オートモードになります。

※タンク内にゴミなどが浮いている場合は、タンク内の水を入れ替えてください。



室内のオゾン濃度は変わりませんので、  
人体に影響はありません。



Dry Filter  
118m 39s

### フィルター乾燥モード

未使用時、フィルターが湿った状態のまま放置すると  
カビや雑菌が繁殖し、フィルターの変色・ニオイの原因となります。  
フィルター乾燥モードを選択すると、  
約120分間フィルターの乾燥を行います。

※室内の温度や湿度によっては、フィルターが完全に乾燥しない場合があります。

その際は、再度フィルター乾燥モードをご使用ください。

またはフィルターをお手入れした上で十分に乾燥させてください。

※タンク内に水が残っていない方が、より早く乾きます。



加湿器を長時間使用しない場合、  
フィルター乾燥モードを使用して、  
タンク内に残った水を捨てることをおすすめします。

## お手入れについて

各パーツは定期的にお手入れください。  
(お手入れ方法やお手入れタイミングはP24～36を参照ください)

## クリーンサインの説明

これらのサインが出たらお手入れのタイミングです

### クリーンフィルター



アラームが鳴り、クリーンフィルターサインが赤く点滅して、お手入れ時期をお知らせします。

P27～30を参照して、フィルターをお手入れしてください。



お手入れ後、ホームボタンを長押しして  
クリーンサインを解除してください。

### クリーンタンク



アラームが鳴り、クリーンタンクサインが赤く点滅して、タンク内にゴミ等の異物がつまっていることをお知らせします。

P33～34を参照して、タンクとダストスクリーをお手入れしてください。



タンクフィルター内の異物を完全に除去するまで、  
クリーンタンクサインは消えません。

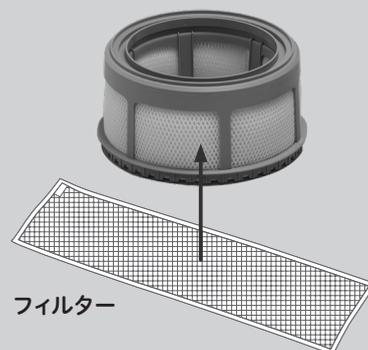
# お手入れするもの

## フィルター（詳しくはP27～28参照）

空気中に舞っているホコリや水道水に含まれるカルキ等がフィルターに付着しますので、フィルターは定期的にお手入れしてください。  
家庭用洗剤を使って水洗い。  
洗浄後は洗剤をしっかりとすすいでください。

- ※ネット使用で洗濯機洗いも可能です。
- ※汚れがひどい場合は、酸素系漂白剤でつけおき洗いをしてください。
- ※ご使用環境により、お手入れ頻度は異なります。

お手入れタイミング  
2週間に1回程度



フィルター



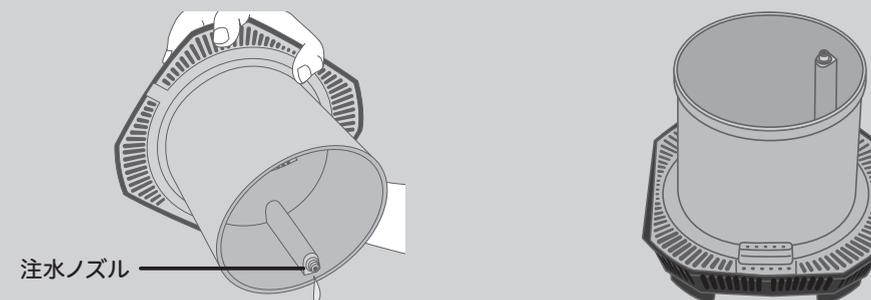
お手入れ方法

## タンク内（詳しくはP33～34参照）

水で湿らせた布でタンク内を水で湿らせた布でタンク内を拭き取ってください。  
カルキ等の汚れがひどい場合は、クエン酸でつけおき洗いをしてください。

- ※ご使用環境により、お手入れ頻度は異なります。
- ※お手入れの前に、必ず注水ノズルが下になるようにしてタンク内に残っている水を捨ててください。

お手入れタイミング  
2週間に1回程度



注水ノズル



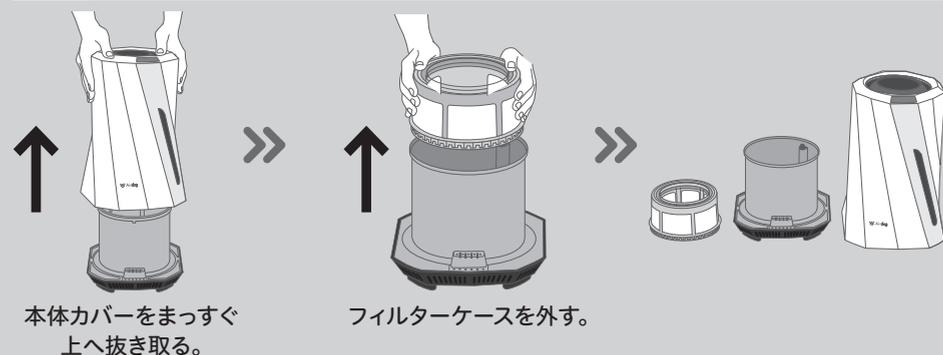
お手入れ方法

定期的なお手入れ

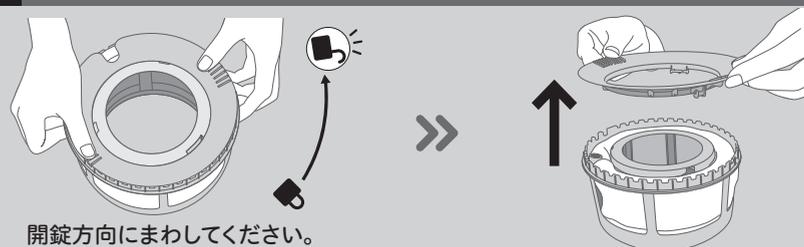
# フィルターのお手入れ方法

お手入れタイミング  
2週間に1回程度

## 1 本体カバー・フィルターケースを取り外します



## 2 フィルターケースの裏にある蓋を取り外します

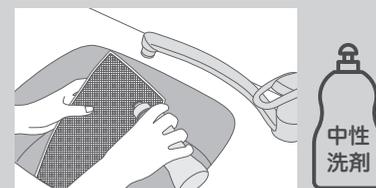


## 3 フレームからフィルターを取り出します



## 4 シンクなどで、家庭用洗剤を使って水洗いします

手洗いの場合



家庭用中性洗剤を使って水洗いしてください。  
※洗浄後は洗剤をしっかりとすすいでください。

洗濯機の場合



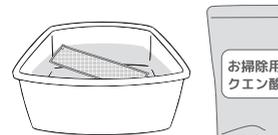
フィルターをネットに入れて洗濯用洗剤をご使用ください。  
※乾燥機は使用しないでください。



カルキが気になる場合

クエン酸を使用して  
つけ置き洗いをしてください。

汚れがひどい場合



ニオイやカビ、黄ばみが気になる場合

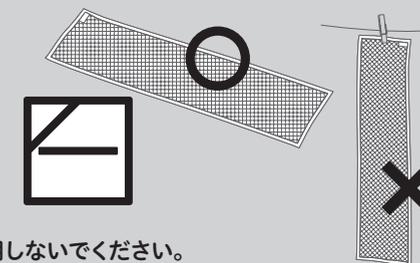
酸素系漂白剤を使用して  
つけ置き洗いをしてください。



## 5 乾燥させます すぐにご使用の際は、乾燥する必要はありません

フィルターを十分に乾燥させてください。  
すぐに使用する場合は濡れたまま本体に戻しても問題ありません。

※フィルターの形状が崩れる恐れがあるので、洗濯ばさみは使用せず、陰平干しで乾燥させてください。



⚠ フィルターを乾燥させる場合は乾燥機を使用しないでください。

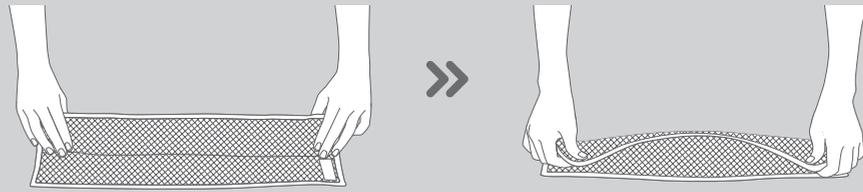
お手入れ方法

お手入れ方法

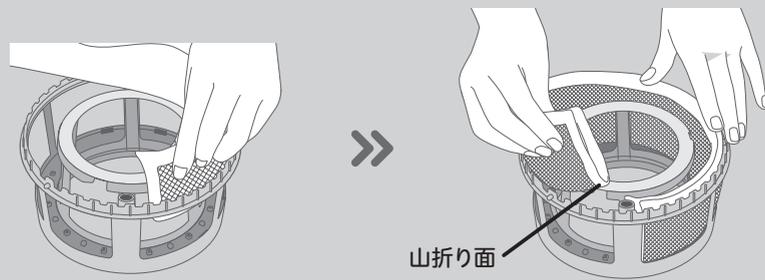
定期的なお手入れ

# フィルターを戻す (フィルターの設置方法)

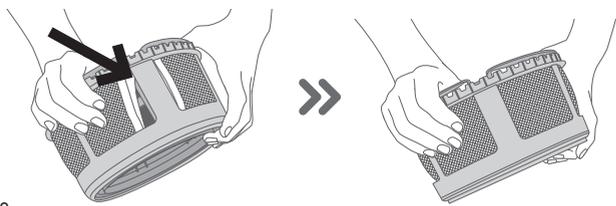
## 1 フィルターを2つ折りに畳みます



## 2 フレームにフィルターを巻きながら、セットします



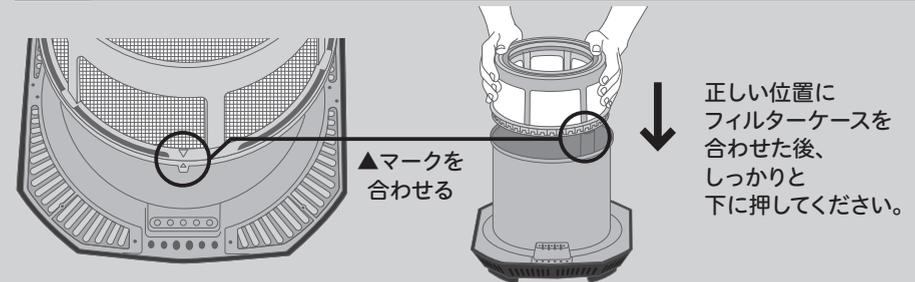
隙間が空かないように  
ピッタリ巻いてください。



## 3 フレームに蓋を取り付けます



## 4 フィルターケースをタンクにセットします



## 5 本体カバーをセットします



お手入れ方法

お手入れ方法

定期的なお手入れ

# タンク内のお手入れ方法

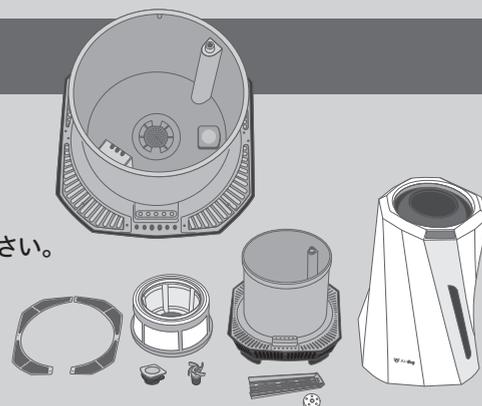
お手入れタイミング  
2週間に1回程度

## カルキが発生した場合

1.

ACアダプタを抜いてから、本体カバーを取り外し、以下のパーツも取り外してください。

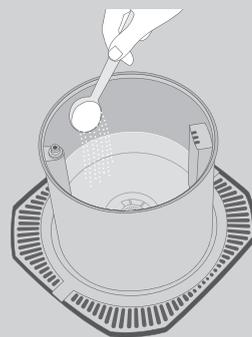
- ・プレフィルター(2枚)
- ・フロートカバー
- ・タンクフィルター
- ・フロート
- ・ダストスクリュー



2.

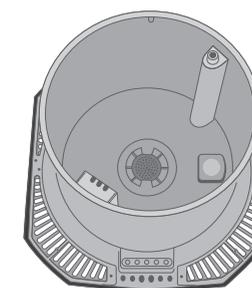
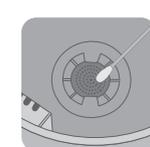
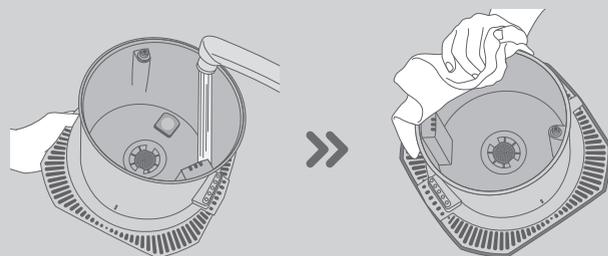
タンク内に半分程度の水が入った状態のまま、クエン酸を約10~20g(目安)溶かして、1~2時間以上付け置きしてください。

※クエン酸使用時に40℃以下のぬるま湯をご使用いただくより効果的です。



3.

水道水でタンク内をよくすすいでから、固く絞った布などで、よく汚れ等をふきとってください。



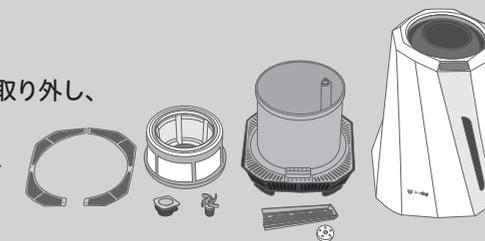
オゾン発生器にカルキや汚れがこびりついて綿棒等で取り除けない場合は、クエン酸の量を増やして、複数回つけおき洗いをしてください。

## カルキが発生していない場合

1.

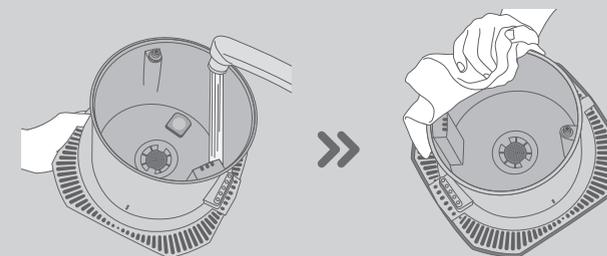
ACアダプタを抜いてから、本体カバーを取り外し、以下のパーツも取り外してください。

- ・プレフィルター(2枚)
- ・フロートカバー
- ・タンクフィルター
- ・フロート
- ・ダストスクリュー



2.

水道水でタンク内をよくすすいでから、固く絞った布などで、よく汚れ等をふきとってください。



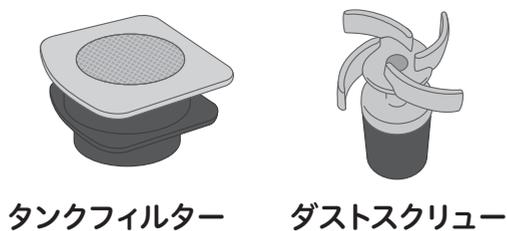
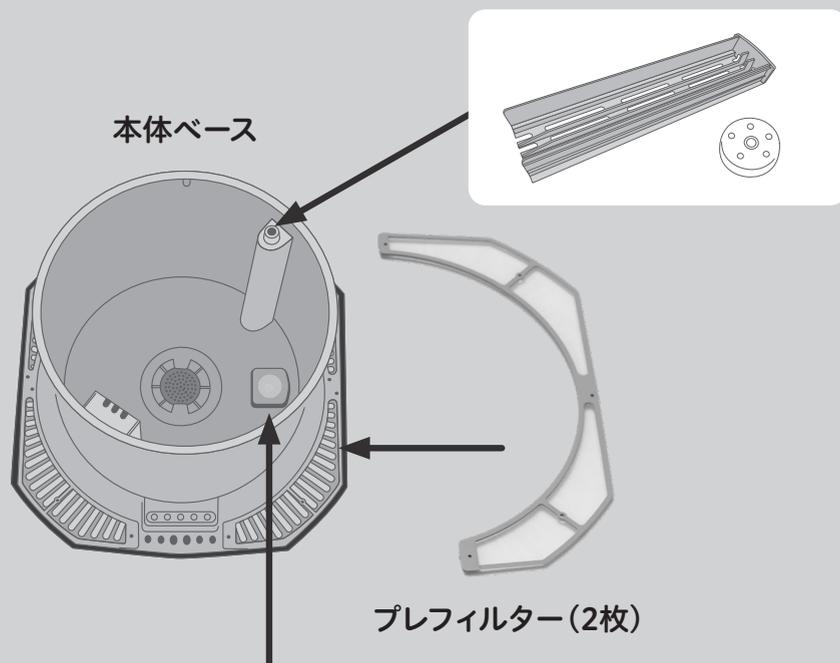
お手入れ方法

お手入れ方法

定期的なお手入れ

## その他、お手入れするパーツ

### タンク内



お手入れ方法

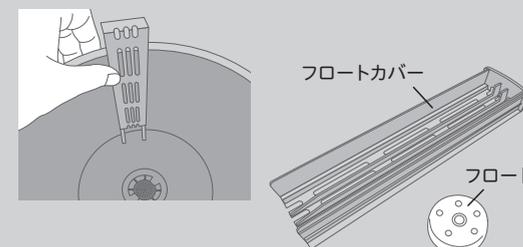
定期的なお手入れ

## 各パーツの取り外し方

### タンク内

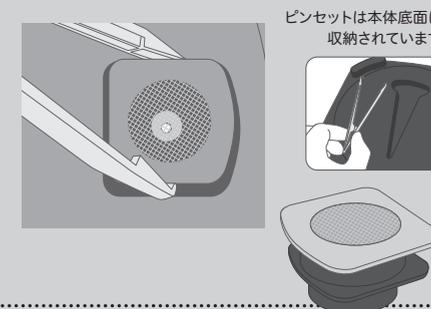
#### フロート

フロートカバーを上  
にスライドさせて取り外し、  
中にあるフロートを  
取り出してください。



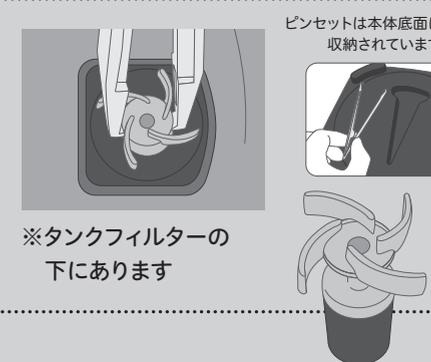
#### タンクフィルター

本体底面に収納されている  
ピンセットで、タンクフィルターを  
はさみこんで取り出してください。



#### ダストスクリュー

本体底面に収納されている  
ピンセットで、ダストスクリューを  
はさみこんで取り出してください。



お手入れ方法

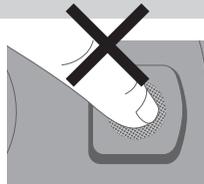
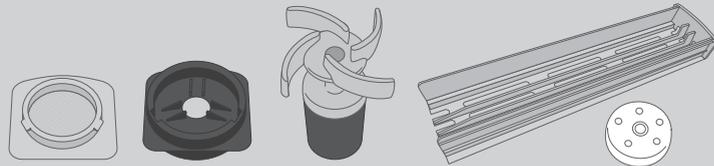
定期的なお手入れ

# 各パーツのお手入れ方法

お手入れタイミング  
1～2ヶ月に1回程度

## タンクフィルター・ダストスクリュー・フロート・フロートカバー

分解した状態で  
水洗いして、  
しっかり乾燥させて  
ください。



戻す際には、タンクフィルターの  
フィルター部分は指で押し込まないでください。  
破損の原因となります。

## プレフィルター

1.

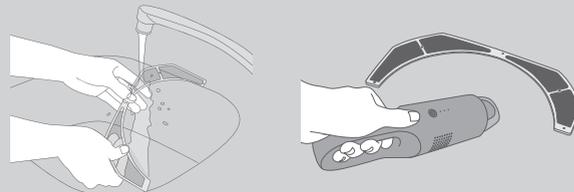
本体ベースから  
プレフィルターを外す。



2.

水洗いまたは掃除機などで  
汚れを吸い取ってください。

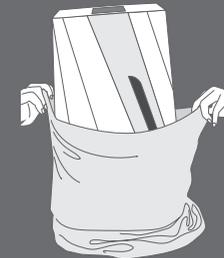
水洗い or 掃除機



### ⚠ 長期間使用しない場合

各パーツを十分に乾燥させてから、  
収納バッグに本体を入れてください。

⚠ 湿気が残ったまま加湿器を保管すると、  
カビだけでなく錆びも発生しやすくなり、  
加湿器の故障につながる危険性があります。



お手入れ方法

お手入れ方法

## 故障かな？と思ったら

### 電源が入らない…

本体カバーがしっかりとはまっていない可能性があります。しっかりと本体ベースに装着されていることをご確認ください。

※10ページ記載の設置方法をご確認ください。

付属のACアダプタが本体にしっかりと装着されていない可能性があります。

しっかりと本体にACアダプタが装着されているかご確認ください。

※10ページ記載の設置方法をご確認ください。

### 本体から水が漏れている…

本体が傾いていないか、平らな場所ではなく不安定な場所に置いていないかご確認ください。

また、タンクの上限以上に給水されていないかご確認ください。

### 本体カバーを持ち上げた際に、水が漏れてくる…

給水してから、すぐに本体カバーを外してしまうと水が漏れる原因となりますので、本体カバーを取り外す際は、給水後30分以上経ってから行ってください。

※取り外す際の注意事項は2ページに記載しております。

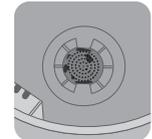
### 白い粉がタンク内やフィルターに付着している…

ご使用される水道水(飲用)にはカルキ成分が含まれており、その粒子が乾燥することにより白い粉として付着しますので、タンク内・フィルターは定期的にお手入れしてください。カルキ等の汚れがひどい場合は、クエン酸でつけおき洗いをしてください。

※25～28ページ記載のお手入れするものをご確認ください。

### オゾン発生装置が黒くまたは茶色く変色してしまう…

オゾン発生器の表面が変色する場合がありますが、故障ではなく性能へ影響することはありませんのでご安心ください。



### 給水時、インジケータのメモリの反応が遅い…

水量を検知しているフロートにゴミ等の異物が付着している場合があります。

フロートカバーを取り外し、フロートカバー内のお手入れをしてください。

※35ページ各パーツのお手入れ方法をご確認ください。

### 蒸気が見えない…

気化式加湿器は、フィルターを通して水を蒸発させて加湿しております。

水蒸気となっているため蒸気は見えませんが、しっかりと加湿されておりますのでご安心ください。

### 冷たい空気が出てくる…

気化式加湿器は、フィルターを通して水を蒸発させて加湿しております。

蒸発した時の気化熱により冷たく感じる場合があります。

### フィルターが濡れていない…または水が減らない…

フィルターケースがしっかりとはまっていない可能性があります。

※29ページのフィルターを戻す(フィルターの設置方法)をご確認ください。

# よくある質問

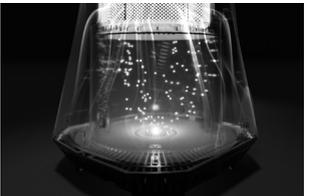
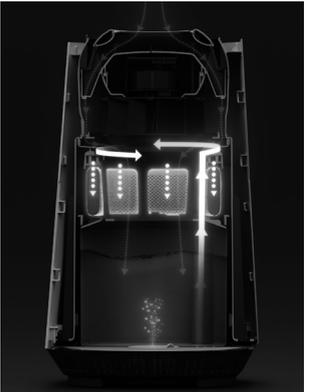
## Q. エアドッグモイは他の加湿器と何が違いますか？

**【加湿方法の違い】** エアドッグモイは**気化式加湿器**です。  
一般的に加湿器には大きく分けて3種類あります。

<b>気化式</b> 水で湿らせたフィルターに風を送り、水分を空気中に蒸発させる方式	<b>メリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 微細な粒子なので雑菌や白い粉などが飛散しにくい。</li> <li>◎ ヒーターを使わないので吹き出し口が熱くならないので安心。</li> <li>◎ ファンを使うのでより広範囲の加湿ができる。</li> <li>◎ 加熱式と異なり、過剰に加湿することがないので部屋の家具や書籍などに優しい。また結露も起きにくい。</li> <li>◎ 電気代が安い。</li> <li>◎ 連続加湿時間が長い。</li> </ul>
	<b>デメリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 加熱式に比べ、加湿するのに時間がかかる。</li> <li>● タンク内の水に雑菌が繁殖しやすい。(エアドッグモイならタンク内の水をオゾンで除菌できるので安心)</li> </ul> <p>※ 全ての菌を除菌するわけではありません。 ※ 【試験機関】CVC Testing Technology Co.,Ltd 【報告書番号】WTS2022-24787 【試験対象】加湿用水内の一種の細菌 【試験方法】GB/T23332-2018に基づき、加湿用水内の水に試験細菌を接種し、加湿機能稼働後の加湿用水内の生菌数を測定 【モード】L1 【除菌方法】加湿用水内で発生させたオゾンによる除菌 【試験結果】1時間おきに5分間オゾンが発生させながら24時間経過後、除菌率99.99%以上</p>
<b>加熱式</b> タンク内の水を加熱し、蒸気を生じさせる方式	<b>メリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 加湿量が多い。</li> <li>◎ より素早く加湿することができる。</li> <li>◎ 加熱することにより雑菌を飛散しない。</li> </ul>
	<b>デメリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吹き出し口が熱くなる。</li> <li>● 過剰に加湿し過ぎることがあるため、まわりの家具や書籍を傷めやすい。</li> <li>● 結露が起きやすい。</li> <li>● 電気代が高い。</li> <li>● 連続加湿時間が短い。</li> </ul>
<b>超音波式</b> 超音波振動により、水を細かい粒にして空気中に放出する方式	<b>メリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 電気代が安い。</li> </ul>
	<b>デメリット</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑菌や白い粉を飛散しやすい。</li> <li>● まわりの家具や書籍を傷めやすい。</li> <li>● 粒子が大きいため、広範囲の加湿には不向き。</li> <li>● タンク内の水に雑菌が繁殖しやすい。</li> <li>● 連続加湿時間が短い。</li> </ul>

よくある質問

## 【エアドッグモイと他の気化式加湿器の違い】

<b>エアドッグモイ</b>		一般的な気化式加湿器 <small>※機種により異なります。</small>										
<b>除菌について</b> オゾン発生機によりタンク内の水を清潔に保つことができます。		タンクの水に雑菌が繁殖しやすいため、小まめなお手入れが必要です。										
<b>運転音について</b> 高性能静音モーターを搭載しておりL1モードで18dBを実現しています。	<b>■エアドッグモイの運転音</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>運転音</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L1</td> <td>18dB</td> </tr> <tr> <td>L2</td> <td>32.5dB</td> </tr> <tr> <td>L3</td> <td>34dB</td> </tr> <tr> <td>L4</td> <td>39.1dB</td> </tr> </tbody> </table>	モード	運転音	L1	18dB	L2	32.5dB	L3	34dB	L4	39.1dB	ファンを回すモーター音が大きい場合があります。
モード	運転音											
L1	18dB											
L2	32.5dB											
L3	34dB											
L4	39.1dB											
<b>加湿について</b> 安定した加湿量をキープ。スマートフィルターはタンク内の水残量に関わらず一定の加湿量を供給することができます。		タンク内の水残量に応じて加湿量が変動する場合があります。										

よくある質問

## よくある質問(つづき)

水道水以外を使っても良いですか？	必ず水道水(飲用)を使用してください。 次のような水は、使わない。 変形・故障の原因や、未使用時のカビや雑菌繁殖の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⊗ 40℃以上の温水</li> <li>⊗ 洗剤を入れた水</li> <li>⊗ 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水</li> <li>⊗ 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水</li> </ul> ※ やむを得ず井戸水を使用する場合は、お手入れの回数を増やしてください。																				
設置はどこが良いですか？	本製品は、上部より加湿された空気が供給されます。空気の流れを阻害しない場所への設置をおすすめしております。																				
フィルター交換は必要ですか？	手洗い、または洗濯機洗いをすることで繰り返し使えます。 使用環境により、変色・目詰まりが発生する可能性があります、その場合は交換してください。																				
オゾンは空気中に排出されますか？	室内のオゾン濃度は変わりませんので、人体に影響はありません。																				
フィルターの汚れがひどい時は、洗剤を使用しても良いですか？	酸素系漂白剤でつけおき洗いしていただけます。																				
風量モード別の加湿時間及び消費電力は？	<table border="1"> <thead> <tr> <th>風量モード</th> <th>連続加湿時間<sup>※1</sup> (目安)</th> <th>消費電力</th> <th>電気料金/日<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L1</td> <td>約40時間</td> <td>8.5W</td> <td>6.3円/日</td> </tr> <tr> <td>L2</td> <td>約15時間</td> <td>13W</td> <td>9.7円/日</td> </tr> <tr> <td>L3</td> <td>約13時間</td> <td>14.5W</td> <td>10.8円/日</td> </tr> <tr> <td>L4</td> <td>約10時間</td> <td>18W</td> <td>13.4円/日</td> </tr> </tbody> </table> ※1 連続加湿時間はご使用の環境により異なります。 ※2 1kWh単価=31円で計算	風量モード	連続加湿時間 <sup>※1</sup> (目安)	消費電力	電気料金/日 <sup>※2</sup>	L1	約40時間	8.5W	6.3円/日	L2	約15時間	13W	9.7円/日	L3	約13時間	14.5W	10.8円/日	L4	約10時間	18W	13.4円/日
風量モード	連続加湿時間 <sup>※1</sup> (目安)	消費電力	電気料金/日 <sup>※2</sup>																		
L1	約40時間	8.5W	6.3円/日																		
L2	約15時間	13W	9.7円/日																		
L3	約13時間	14.5W	10.8円/日																		
L4	約10時間	18W	13.4円/日																		
他の温度計・湿度計と数値は違いますか？	お手持ちの温度計・湿度計とは設置場所、室内環境が異なるため数値が異なる場合があります。																				

よくある質問

## 仕様



製品名	Airdog moi 加湿器
サイズ	高さ:42×奥:25.8×幅:24.6(cm)
質量	約3kg(ACアダプタ含む)
電源	DC24V (ACアダプタ AC100-240V 50/60Hz)
電源コードの長さ	約1.5m
定格電力	18W
タンク容量	3.2L
付属品	取扱説明書、ACアダプタ、収納バッグ、替え用フィルター
消費電力	L1=8.5W, L2=13W, L3=14.5W, L4=18W
運転音	L1=18dB, L2=32.5dB, L3=34dB, L4=39.1dB
最大加湿能力	L1=75mL/h, L2=200mL/h, L3=230mL/h, L4=303mL/h

仕様